

特集・逝ける映画人を偲んで(1980~81)

映画史を多彩にいろどる数々の秀作の創造に大きく貢献された映画人で、この1年間(1980~81)に惜しまれつつ逝去された内外の映画監督、カメラマンならびに俳優の方々の中から21人を偲んで、それぞれの代表的作品により生前の業績を回顧することとし、ここに「特集・逝ける映画人を偲んで」を例年通り上映いたします。ひろく映画研究者、愛好者の方々の御鑑賞をおすすめいたします。

1981年7月 フィルムセンター

*日暇・祝日は休館。午後3時・6時15分の2回上映(開館は12時30分で、先着順にて定員239名に達し次第締め切ります)。

*7月27日から31日までの5日間はヨルの回(6時15分開映)のみ本特集の番組を上映、ヒルの回(3時開映)は、「夏休み少年少女名作鑑賞」です。

*7月4日・11日・18日・25日の各土曜日は「映画史上の名作」を上映致します。

一般250円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
7月1日(水)	戦国盗伝 (99分)	PCL=前進座・1937年	滝 沢 英 輔	唐沢弘光(撮影)河原崎長十郎、中村甞右衛門、山岸しづ江
2日(木)	{ ニースについて(無声・25分) マダムと泥棒 (90分)	フランス・1929年	ジャン・ヴィゴ	ボリス・カウフマン (撮影)
3日(金)	鶯 (71分)	イギリス・1955年	A・マッケンドリック	ピーター・セラーズ、アレク・ギネス、セシル・パーカー
6日(月)	たそがれの維納 (99分)	東京発声・1938年	豊 田 四 郎	北沢彪、霧立のぼる、清川虹子、堤真佐子、杉村春子
7日(火)	伊豆の踊子(無声・93分)	オーストリア・1934年	ヴィリ・フォレスト	パウラ・ヴェッセリ、アドルフ・ヴォールブリュック、 オルガ・チェホワ
8日(水)	人生劇場 飛車角と吉良常(112分)	松 竹・1933年	五 所 平 之 助	大日方伝、田中絹代、小林十九二、若水絹子、高松栄子
9日(木)	牢獄の花嫁・総集編 (110分)	東 映・1968年	内 田 吐 夢	山本麟一、鶴田浩二、若山富三郎、藤純子、辰巳柳太郎
10日(金)	鞍馬天狗 江戸日記 (65分)	日 活・1939年	荒 井 良 平	阪東妻三郎、尾上菊太郎、河部五郎、原健作、志村喬
13日(月)	ぼんち (105分)	〃 〃	松 田 定 次	嵐寛寿郎、尾上菊太郎、宗春太郎、大倉千代子、河部五郎
14日(火)	孤独の報酬 (134分)	大 映・1960年	市 川 崑	越路吹雪、市川雷蔵、若尾文子、草笛光子、中村玉緒
15日(水)	本日休診 (97分)	イギリス・1963年	リンゼー・アンダースン	レイチェル・ロバーツ、リチャード・ハリス、アラン・ ペーデル
16日(木)	気違い部落 (135分)	松 竹・1952年	渋谷 実	鶴田浩二、淡島千景、角梨枝子、柳永二郎、三国連太郎
17日(金)	高橋とよ一 小津安二郎監督作品出演場面集「東京物語」「彼岸花」「秋日和」「秋刀魚の味」他 (90分)	〃 〃 1957年	渋谷 実	伊藤雄之助、淡島千景、石浜朗、三井弘次、清川虹子
20日(月)	イタリア麦の帽子 (81分)	フランス・1927年	ルネ・クレール	アルベール・プレジャン、オルガ・チェホワ、マリー ズ・マイア
21日(火)	リラの門 (98分)	〃 〃 1957年	ルネ・クレール	ビエール・ブラスール、ジョルジュ・ブラスアン、 アンリ・ヴィダル
22日(水)	暖 流 (124分)	松 竹・1939年	吉村公三郎	水戸光子、佐分利信、高峰三枝子、徳大寺伸
23日(木)	女 (67分)	〃 〃 1948年	木 下 恵 介	水戸光子、小沢栄太郎
24日(金)	煙突の見える場所 (108分)	新東宝 スタジオ8・1953年	五 所 平 之 助	田中絹代、上原謙、高峰秀子、芥川比呂志、関千恵子
27日(月)	ヨル 三文オペラ (93分)	イギリス・〃	ピーター・ブルック	ヒュー・グリフィス、ローレンス・オリヴィエ、スタン リー・ホロウェイ
28日(火)	ヨル 成吉思汗 (80分)	大 映・1943年	牛 原 虚 彦	戸上城太郎、滝口新太郎、香川良介、橘公子、石黒達也
29日(水)	ヨル 断固戦う人々 (99分)	イギリス・1954年	ルイス・マイルストーン	ダーク・ボガード、デノルム・エリオット、エイキム・ タミロフ
30日(木)	ヨル 100万ドルの血斗 (111分)	アメリカ・1971年	ジョージ・シャーマン	リチャード・ブーン、ジョン・ウェイン、モーリン・オハラ
31日(金)	ヨル { 刈り切り唄 (41分) 首都東京 (59分)	記録映画社・1959年 〃 〃 1964年	上 野 耕 三	記録映画

夏休み少年少女名作鑑賞

少年時代から鑑賞眼を養い高めるといふことは、将来の人間形成に役立つものが多分にあります。そこで、夏休みの期間に少年層でも理解できうるであろう心に残る映画を選んでここに特集をつくりました。ジュニア版フィルムセンターとして、御家族ともども御利用いただきたいと存じます。

1981年7月 フィルムセンター

*入館方法、料金は平常通りで、ヒルの回(3時開映)のみ上映。ヨルの回とは入れ替えます。

*7月29日(水)の上映は日本語吹き替え版、それ以外の上映日は日本語字幕付きです。

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
7月27日(月)	ヒル トッポ・ジージョの (91分)	日 本・1967年	市 川 崑	人形劇映画
28日(火)	ヒル ボタン戦争	イタリア	ジェームズ・ヒル	マーク・レスター、ウォルター・スレザク、アーシュラ ・グラス
29日(水)	ヒル 黒馬物語 (106分)	イギリス・1970年	ビル・メレンデス	アニメーション(日本語版)
30日(木)	ヒル スヌーピーとチャーリー(86分)	アメリカ・1969年	セルヴァンド・ゴン ザレス	リカルド・アンコナ、ヘスス・メディナ、マリア・プス タメンテ
31日(金)	ヒル ぼくの心はバイオリン(93分)	メキシコ・1961年	ビル・メレンデス	フレッド・アステア、レスリー・キャロン、セルマ・リッター
31日(金)	ヒル 足ながおじさん(126分)	アメリカ・1955年	ジーン・ネグレスコ	